

かにのつめ

*Laternea bicolumnata Lloyd*

夏秋ノ候、林野・庭園等ニ生ズ。球状ナル菌蕾ノ皮殻ヲ破リテ出デタル菌體ハ、左右二莖ヲ有スルモノニシテ、兩莖ハ各内方ニ彎曲シ、先端ニ於テ相結合セリ。下部ハ白色ナレド、上部ハ黄色ナリ。上部ノ内側ニ子實層ヲ造ル。子實層ハ黑色、粘液化シテ惡臭ヲ放ツ。

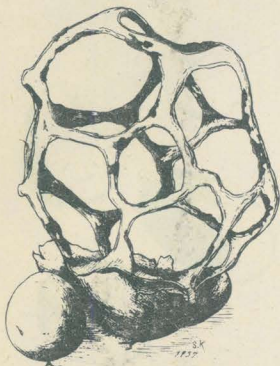


第 3046 圖

かごたけ

*Clathrus gracilis (Berk.) Schlecht*

夏秋ノ候、稀ニ林地・庭園ニ生ズル腹菌類ニシテ稀品ナリ。菌蕾ハ白クシテ丸ク、きつねのたいまつ・きつねのゑふで等ノモノニ似タリ。菌蕾ノ外皮ハ上方ヨリ裂ケテ脚苞トナリ、中ヨリハ四角形乃至六角形ノ網目ヲ造リテ球状ニ擴ガリタル籠状ノ菌體ヲ出ス。一種ノ香氣アリ。



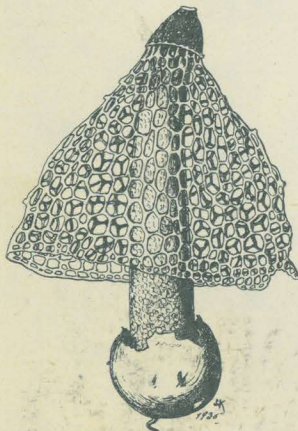
第 3047 圖

きぬがさたけ

一名 こむさうたけ

*Dictyophora phalloidea Desv.*

能ク竹藪中ニ生ズル菌ニシテ、鐘状ナル頭部ノ内方ヨリ莖ノ周圍ニ垂レタル白色網状ナルまんとヲ有シ、其ノ様甚ダ美ナリ。頭部ノ表面ニ惡臭ヲ發スル粘液ヲ有スルガ故ニ、一般ニ有毒菌ト看做シ居ルモノ本來ハ無毒ナリ。古來支那ニテハ竹筴ト稱シ、一般ニ食用トス。我邦ニテモ支那料理店ニテハ、支那産ノ乾物品ヲ輸入シテ、汁ノ實ニ鶉ノ卵ト共ニ用ユルヲ常トス。本邦ニモ産スレドモ邦人ハ古來本菌ノ食用トナシ得ルコトヲ知ラザリキ。

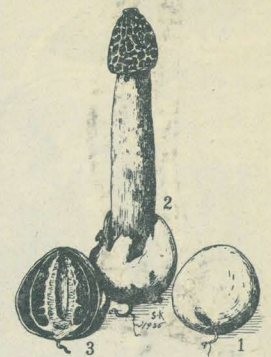


すっぽんたけ科

すっぽんたけ

*Phallus impudicus (L.) Pers.*

腹菌族中最モ普通ナルモノニシテ秋季、山野・路傍等ニ生ズ。菌蕾ハ鶏卵大ノ球状ニシテ(1)、蓋・莖トナルベキ部分ヲ其ノ内ニ包藏ス(3ハ1ヲ縦斷シテ示ス)。成熟スルニ及ベバ、菌蕾ノ皮殻ヲ破リテ伸長シ、凡ソ10cm内外ノ丈ニ達ス(2)。頭部ハ鐘状ヲ呈シ、其表面ニ暗綠色ノ粘液アリテ胞子其中ニ存ス。粘液ニ惡臭ヲ有スルガ故ニ人ノ嫌フモノナレドモ、脚苞ヲ除キ、粘液ヲ洗ヒ去リタルモノヲ、干シテ支那料理ニ竹筴ト共ニ汁ノ實トシテ用フ。



すっぽんたけ科

第 3048 圖

きつねのたいまつ

*Phallus rugulosus Fisch.*

秋季、陰濕ノ地或ハ竹藪等ニ生ズル普通ナル菌ニシテ、頭部ハ鐘状ニシテ縦皺ヲ有シ、赤色ニシテ表面ニ黒褐色ナル惡臭アル粘液ヲ有ス。莖ノ長サ約10cm、柔軟ニシテ紅色、其色上部ハ濃ク下部ハ淡シ。本菌ハ色・形等一見シテ、きつねのゑふで又ハきつねのらふそく等ニ似タレドモ、是等ハ鐘状ナル蓋ヲ有セズシテ別屬ノ菌ナリ。

第 3049 圖



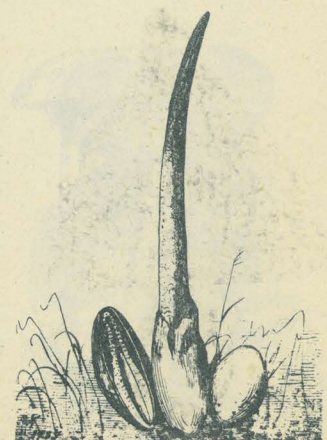
すっぽんたけ科

第 3050 圖

きつねのゑふで

*Mutinus boninensis E. Fisch.*

秋季(他ノ時季ニモ發生スルコトアリ)、竹林・路傍等ニ普通ニ見ル菌ニシテ、菌蕾ハ初メ白色球状ヲ成シ後上部ヲ突破リテ紅クシテ尖レル中空ノ菌體ヲ出ス。きつねのたいまつニ似タルモノナレドモ、本菌ニハ鐘状ノ頭部ヲ缺キ、莖ハ角状ニ尖リテ、莖ノ上部ニ胞子ヲ藏スル黑色ノ粘液ヲ附着ス。一種ノ臭氣アリ。



すっぽんたけ科